

第1回 品川区民芸術祭

テノール歌手 高野二郎プロデュース

ブルミエコンサート シリーズ

●第1弾 **ミュージカル・カフェ** 入場無料

～ミュージカルの名曲で素敵な午後を～

8/29(日) 開演14:00

ゲートシティ大崎 B1アトリウム

●第2弾 **品川区民芸術祭記念合唱団演奏会**

～モーツァルト『レクイエムニ短調 K.626』～

9/5(日) 開場13:00 開演14:00

大森ベルポート C館アトリウム

●第3弾 **スニーカーで名画座へ** 未就学児の入場は
ご遠慮ください。

～男の子の映画の中に、こんなきれいな曲が～

9/10(金) 開場17:30 開演18:00

六行会ホール

●第4弾 **品川新人演奏会** 未就学児の入場は
ご遠慮ください。

～品川区民芸術祭 新人オーディション受賞者による記念演奏会～

9/11(土) 開場15:30 開演16:00

荏原文化センター 大ホール

●第5弾 **高野二郎 テノール・リサイタル** 未就学児の入場は
ご遠慮ください。

～ブルミエコンサート・プロデューサーによるスペシャルコンサート～

9/18(土) 開場13:30 開演14:00

五反田文化センター 音楽ホール



高野二郎(たかのじろう)
プロデューサー・声楽家

★高野氏からのメッセージ

今回、記念すべき第1回品川区民芸術祭「ブルミエ・コンサート」シリーズの総合プロデューサーを仰せつかり光栄の極みです。声楽の仕事が始めて20年。その間出来るだけ地元でのコンサートに出演したいと様々な形で演奏の機会を頂いて参りました。良質の演奏を気軽に安価でお楽しみ頂くために全5回のブルミエ・コンサートをプロデュースさせて頂きました。プロデューサーとしてだけでなく、演奏家としても全5回出演致します。今回の第1歩が故郷品川区芸術文化振興を担っていかれるように全力で取り組んで参ります。ブルミエ・コンサートにどうぞご期待下さい。

「ブルミエコンサート」とは?
フランス語で「最初の」、「一番」という意味で、品川のある「いちかわ」音楽を楽しく始める『とっておきのコンサート』という意味を込めて命名しました。

Premier concert series

8月29日(日)
開演：14:00

第1弾 ミュージカル・カフェ

入場無料

～ミュージカルの名曲で素敵な午後を～

サウンド・オブ・ミュージックからシカゴまで、今も昔も人気の作品をピックアップ！
ショーの演出は元宝塚の江夏淳、ゲストに本芸術祭プロデューサーの高野二郎を迎え、
洗足学園音楽大学ミュージカル・コースのフレッシュな学生達が
魅力溢れるステージをお届けします!! 午後のひとときをお楽しみください♪



♪サウンド・オブ・ミュージック、コーラスライン、オペラ座の怪人他♪

企画：高野二郎

出演：洗足学園音楽大学
ミュージカルコース選抜メンバー

構成：江夏淳
演出：(宝塚歌劇団出身)

メイン・ゲスト/高野二郎

ピアノ/金井 信

江夏 淳 (舞踊家・振付家)

1979年11月に宝塚歌劇団を退団。翌年より「江夏淳 Jazz Dance Studio」を開設。プロを目指す生徒から一般の生徒を指導の他、ミュージカル、芝居、TV等の振付を始め現在に至る。

洗足学園音楽大学ミュージカルコース選抜メンバー

洗足学園音楽大学に2006年に新設されたコース。現在80余名の学生が、ダンス・演技・ヴォーカル等の舞台の基礎を日々学んでいます。10月本公演と2月卒業公演を軸に、7月・12月には授業成果を発表するパフォーマンス・コンサートを公演するなど、実践で勉強する機会も多いコースです。また5月にはNHK歌謡コンサートにも出演し、振り付きのバックコーラスで評判を呼びました。今回のステージは、コース内からオーディションで選ばれた2～4年生メンバーで、パワー溢れるフレッシュな魅力いっぱいにお届けします。

9月5日(日)
開演：14:00

第2弾 品川区民芸術祭記念合唱団演奏会

～モーツァルト『レクイエムニ短調 K.626』～

「レクイエム」はW.A.モーツァルトの作曲した「死者のためのミサ曲」で彼の最後の作品です。
ヴェルディ、フォーレの作品とともに「三大レクイエム」の一つに数えられる傑作。

この名曲を記念すべき第1回目の区民芸術祭に選びました。

合唱の好きな経験者から初心者まで、熱心に練習に参加した記念合唱団の成果をお聴き下さい。
ブルミエにふさわしいソリストの方々のご歌声と、電子オルガンのフルオーケストラを凌ぐほどの演奏が、
地上40メートル吹き抜けの広いアトリウムに響き渡ります。是非お聴き逃しなく!!



遠藤正之 (合唱指導・指揮)

洗足学園音楽大学第2部、東京聖光大学の夫々を卒業科で卒業。
アマチュアコーラスの指導と自身のソロ活動も行いつつ現在に至る。現、品川区民合唱団指揮者、九条文化会大正音楽顧問 他。

モーツァルト (作曲家)

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(Wolfgang Amadeus Mozart)は1756年、ザルツブルグで、ヴァイオリニストの父レオポルト、母アンナ・マリアの第7子としてこの世に生を受けた。数々の名曲を残し、1791年に35歳の若さでウィーンにてこの世を去った。世界的に有名なクラシック音楽の作曲家です。ウィーン古典派3巨匠として、ハイドン、ベートーヴェンと共に名前を連ねています。彼の曲は、この世を去って250年以上たった今でも世界中から愛されています。



橋 光一
(電子オルガン)

洗足学園音楽大学音楽科電子オルガン専攻、洗足学園音楽大学音楽科バイオリン科卒業。



宇井仁美
(電子オルガン)

洗足学園音楽大学電子オルガンコース専攻卒業。



清水菜穂子
(ソプラノ)

国立音楽大学大学院声楽科修了。
二級会員、東京室内歌劇場会員、洗足学園音楽大学講師。



三津山和代
(メゾソプラノ)

東京聖光大学卒業、同大専攻修了。
文化庁オペラ研修所修了。
二級会、東京室内歌劇場、日本演劇連盟会員。



高野二郎
(テノール)

東京聖光大学大学院修了、同大専攻修了。
洗足学園音楽大学講師、(右プロフィール参照)



杉野正隆
(バリトン)

国立音楽大学音楽科卒業、同大専攻修了。
二級会会員、東京室内歌劇場会員、東京音楽大学非常勤講師。

きゅりあん以外の区内各文化発信施設で開催される街角ミニコンサートです。気軽に参加、鑑賞出来る事をコンセプトに、今、話題のテノール歌手高野氏と作り上げました。(肩の力を抜いてご参加ください)

9月10日(金)
開演：18:00

第3弾 スニーカーで名画座へ

～男の子の映画の中に、こんなきれいな曲が～

E.モリコーネ、J.ウィリアムス、E.バーンスタインらが作曲した珠玉の名曲♪

出演：品川区民芸術祭記念 瞬間的 弦楽四重奏団プラスα
バンドマスター 福田裕彦 (key.mc)

Brass/ プリバリ・ボンパーズ
武田和大 (Sax.Flute)
佐久間勲 (Trumpet)
茶谷将彦 (Trumpet)
霧田祐司 (Trombone)

Strings/ モーメント・ストリングカルテット
有馬真帆子 (1st Violin)
山崎響子 (2nd Violin)
羽藤尚子 (Viola)
郷田祐美子 (Cello)

包国 充 (Sax.Flute)
里村美和 (Percussion)
高野二郎 (Vocal)
山岸由香 (Vocal)

Arrangement/ 福田裕彦
武田和大
小弥祐介



福田裕彦 (音楽プロデューサー)
ゲーム、アニメ、映画音楽を多数制作。自他共に認める「映画マニア・ミュージシャン」である。
<http://www.daiz.tv/top.html>



■福田氏のメッセージ

勝手に「第一弾」と思って(笑)お送りするのが、「男の子映画の中にこんな美しい曲が!」「男の子映画」とは、アクション映画、SF映画、ホラー映画…などなど、明らかに女性の観客に向けてではなく、男性の観客に向けて作られた映画の事。そういう映画を「男性映画」ではなく、敢えて「男の子映画」と表現したのは、そういう映画を見ているとき、男性は誰も童心にかえっているからです。

今回は、こうした女性の方が、あまり見る機会がなかったであろう映画の中に登場する、素晴らしい楽曲を紹介してみたいと思っています。

9月11日(土)
開演：16:00

第4弾 品川新人演奏会

～品川区民芸術祭 新人オーディション受賞者による記念演奏会～

7月3日の公開オーディションにて、品川区民芸術祭が誇る審査員が認めた新人演奏家たちの演奏会。品川区の芸術振興に意欲があり、希望に燃えるフレッシュな演奏をお楽しみください。7月の公開オーディションにも是非お出かけください。これから活躍する若手の演奏家を応援して、区民皆で盛り上げましょう。

演奏曲目は、当日プログラムにて発表。またプロデューサー高野二郎氏によるゲスト演奏もあります♪

★ 7月3日(土) 公開オーディション(きゅりあん大ホール) 入場無料 ★

■審査員 (50歳順 一部紹介)

高藤雅広(ピアニスト)

東京藝術大学及び筑波大学修了。チェルニー・スタニスラフスキに才能を認められ内弟子として学ぶ。18歳で第40回日本音楽コンクールに優勝し同年NHK交響楽団との共演でデビュー。NHK名曲アルバム、ベストオブクラシック、ニューイヤーパーラコンサート、トゥットゥアンサンブルの「キーボーイズ」。



趣味活きの講師等、多数のTV出演。CDはワーナーの「ヴィルトゥーザ演奏会」の録音が「レコード芸術」で特選盤に選ばれている。NHKニューイヤーコンサート名古座の司会も務める等、エンターテインメントな活動も多い。
<http://www.masa-hiro-saitoh.com/>

高野二郎(声楽家)

品川区在住、区民芸術祭プロモーションズ・プロデューサー、東京藝術大学大学院修了。93年「極大メサイア」公演でソリストデビュー。日本、東洋、韓国、台湾、タイ、シンガポール等と「第九」、「レクイエム」等の共演をはじめ、新国立劇場、東京二期会等の主催オペラ公演に度々出演。NHKニューイヤーオペラコンサート、テレビ朝日「超名のない音楽会」等に出演、分野を問わずボーダレスな活動には定評がある。現在、男声オペラ歌手ユニット「ザ・ジェイド」メンバー、東京室内歌劇団運営委員、二期会会員、愛知県立芸術大学、筑波大学音楽学専攻。



<http://raon.apacscup.com/prose/>

田野倉雅秋(ヴァイオリニスト)

清洲区在住、東京藝術大学、その後スカラシップを得てニューヨークのジュリアード音楽院へ留学し修士号を取得。第8回フルール・ニールセン国際ヴァイオリンコンクール(デンマーク)で優勝。現在、広島交響楽団のコンサートマスター、これまでに日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、大宮フィルハーモニー交響楽団の客演コンサートマスターとしても出演し、今後さらに幅広い活躍が期待されている。2007年度より、エリザベト音楽大学にて、准教授として後進の指導にも携わっている。



<http://masa-1.jp.kf.freek.jp/>

山田慶一(指揮者)

桐原学園高等学校及び桐原学園大学でヴァイオリンを専攻する中、既に音楽界に注目を集め、ヨーロッパ各地での公演に出演。またロンドン・マゼール氏のアシスタント・コンダクターを務め、広島交響楽団や大宮シンフォニーなどプロオーケストラの指揮もしている。広島交響楽団ゲスト・コンサートマスターを務め、またNHK交響楽団のヴァイオリン奏者としてシャルル・デュトワ氏、ヴォルフガング・サバリツキ氏、ホルスト・シユタイン氏等著名な指揮者から指導を受けた多大な音楽的影響は貴重な財産である。



五反田文化センターこけら落とし

9月18日(土)
開演：14:00

第5弾 高野二郎 テノール・リサイタル

～プルミエコンサート・プロデューサーによるスペシャルコンサート～



稀代の名テノール、フリッツ・ヴンダーリヒ生誕80年に寄せて

ドイツが生んだ稀代の名テノール、フリッツ・ヴンダーリヒ。36歳の若さでこの世を去った彼の生誕80年のメモリアル・イヤーの今年。彼の歌声に魅せられ、彼のレコードを擦り切れる程聴いて勉強し、日本のヴンダーリヒを目指し藝大に進学した高野二郎の、いわばテノール歌手の原点である彼ゆかりのレパートリーを中心にオペラアリア、歌曲、ポピュラーソングの数々を金井信の華麗なピアノと共にお届けします。

出演：高野二郎 (テノール)

金井 信 (ピアノ)

ゲスト：清水菜穂子 (ソプラノ)



金井 信 (ピアノ・作曲・編曲)

慶應義塾大学文学部哲学科(美学・美術史学専攻)、東京藝術大学音楽科、尚美高等音楽学院作曲科卒業。長年、伴奏者・編曲者の第一人者として、一流声楽家からポピュラー系まで、数多くのミュージシャンをサポート。クラシック、ジャズ、ミュージカル、ポップス、演歌に至るオールラウンドな幅広い技術と即座の移調能力。歌にピッタリ寄り添う柔軟な音楽性は、他の追随を許さぬオンリーワンの存在として多くの信頼を集めている。

■高野氏の品川区との関わり(ご本人の言葉をそのまま掲載)

1969年に生まれてからずっと品川区民。わんぱく相撲の品川区代表として蔵前国技館で相撲を取り、不動前、武蔵小山、戸越、戸越銀座、五反田の各駅を利用し、武蔵小山商店街、とこしげんざ商店街、T.O.Cで買い物をし、荏原警察署の少年柔道教室に通い、荏原文化センターのプールで泳ぎ、五反田文化センターのプラネタリウムを楽しみ、ゆうほうとで演奏を聴いたり、しながわ水族館でデートする、そんな幼少、学生時代でした。現在は、大森ベルポートでの「第9を歌おう」等に出演して区民の方と共に歌っています。

Premier concert series

♪ 芸術祭特別価格

7/5(月) 発売開始

- ・各コンサートチケット 第2弾～第5弾 **1,000円**
- ・セット券 (第2弾、第3弾、第4弾、第5弾) **3,000円**

※第1弾/入場無料

※第3弾、第4弾、第5弾/未就学児の入場はご遠慮ください。

是非全ての会場に足を運びお楽しみ下さい。

●お問合せ・販売窓口 <a.m.9:00>

きゅりあん 03(5479)4140

<http://www.shinagawa-culture.or.jp/curian/>

People living in Shinagawa Art Festival Vol.1

